

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1)基本目標：「人間尊重の精神」を基盤として、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた、
心豊かでたくましい生徒を育成する。

(2)具体目標(具体的な児童生徒像など):◎長期目標として

◎たしかな学力をもつ生徒(知) ◎豊かな心をもつ生徒(徳) ◎強い体力・気力をもつ生徒(体)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「生徒が安心して力を発揮できる学校」

社会に貢献できる日本人を育成するため、生徒一人一人の自らの良さや持てる力に気付かせ、それらを伸ばしていく指導をもとに、確かな学び、豊かな心、健やかな体を育む教育活動の充実を図る。さらに、人とのつながりの中で互いに支え合い、人に役立つことの意義が理解できる生徒を育成する。そのために、すべての生徒が安心して力を発揮できる学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 基本的な考え方

これからの共生社会を担う健全な生徒の育成を目指し、知・徳・体の調和のとれた教育を行う。そのため、正しい人間観を育てる教育を重視するとともに、社会性を高めるための諸活動を通じて、他者とよりよく生きる力を育成する。併せて、地域に開かれた信頼される学校づくりに努めるとともに、地域の教育力の活用に努める。

(2) 基本方針

- ① 学業指導を充実し、生徒一人一人の自己実現に向けた主体的・協働的な学習の推進と、社会との関わりの中で自分の生き方を見つめ考えさせるキャリア教育の充実を図る。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力、判断力、表現力の育成に加え、学力調査等の活用と学習習慣の確立による、確かな学力を育む学習指導を推進する。
- ③ 生徒一人一人の人格を尊重し、自己有用感と思いやりの育成を積み重ね、困難を乗り越えるたくましさや夢や目標を持って社会に貢献しようとする豊かな心を育む教育を推進する。
- ④ 生涯にわたって健康で安全な潤いある生活が送れるよう、健康教育と安全教育の充実を図り、強い体力・気力を育む教育を推進する。
- ⑤ 共生社会の実現を目指すため人権教育の充実とグローバルコミュニケーション能力の育成を図る。
- ⑥ インクルーシブ教育システムの推進に向けた特別支援教育の充実を図る。
- ⑦ 特別の教科「道徳」の実施にあたり、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に組織的に取り組む。
- ⑧ 「部活動方針」に基づいた、適切な部活動運営への改革を図る。
- ⑨ 地域学校園小中一貫教育の推進と地域諸団体との連携、生徒の地域貢献活動の実践による、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ⑩ 学校における働き方改革を推進するとともに、教育公務員としての使命と職責を自覚し、相互に高め合い学び合う協働的な同僚性の構築と、教職員の指導力と専門性の向上を目指す。

(3) 育てたい資質・能力

- ① 小規模校の強みを生かし、多くの体験学習を通して自己有用感を育てる。
- ② コミュニケーション力を高め、生徒相互の多様な力を認め合い、共感的な人間関係を育てる。
- ③ 自己決定の場を設け、その実現に向けて粘り強く取り組むとともに、夢や目標を持って社会に貢献しようとする意欲と態度を育てる。

[晃陽地域学校園教育ビジョン]

「未来を見据え、地域と連携し、子どもが生き生きと学ぶ地域学校園」
－未来に向かってかしこく、たくましく生きる子どもの育成－

4 教育課程編成の方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令，学習指導要領に従い，宇都宮市立学校の管理運営に関する規則第7条に基づいた，「宇都宮市立小中学校の教育課程及びその編成の基準」を踏まえ，生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し，地域や学校の実態及び生徒の心身の発達や特性等を十分考慮して，本校の教育目標を達成すべく適切な教育課程を編成するものとする。

さらに平成29年告示中学校学習指導要領に示された，よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し，社会と連携・協働しながら，未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

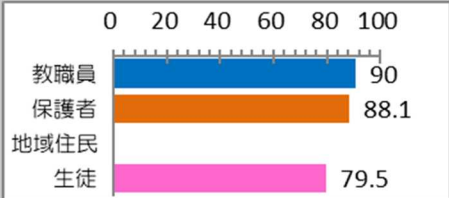
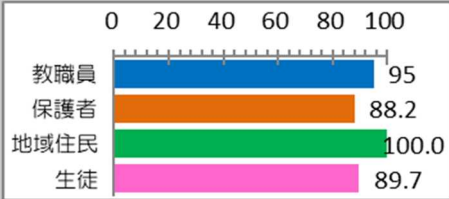
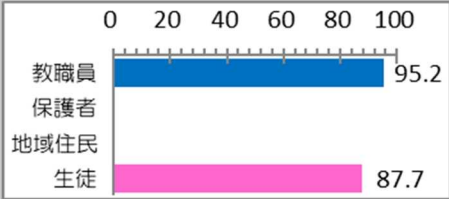
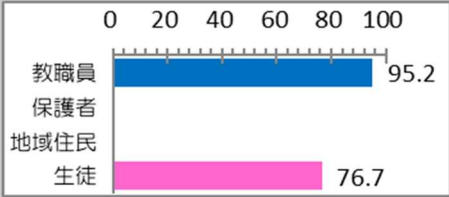
- 【学校運営】 ○生徒が安心して力を発揮できる学校づくりのための指導と評価の充実
- 【学習指導】 ○学力向上を目指す学習指導の改善と生徒の学習習慣の育成
- 【児童生徒指導】 ・自己有用感を育てる生徒指導と個別指導の充実
- 【健康（体力・保健・食・安全）】 ・自他ともに健康で安全な生活を送ろうとする実践力の育成

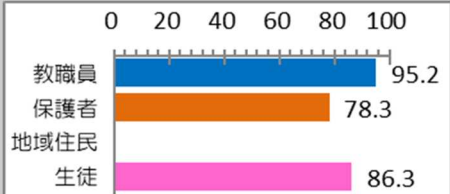
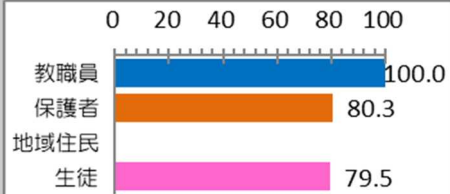
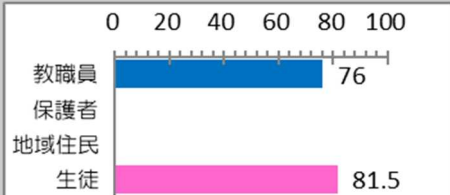
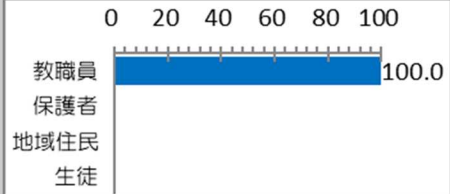
6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

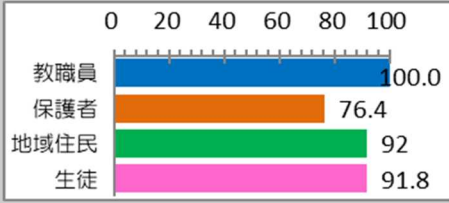
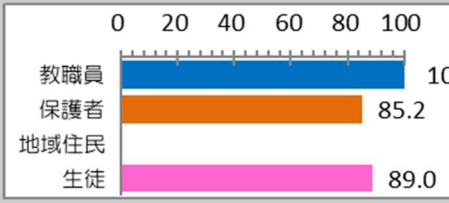
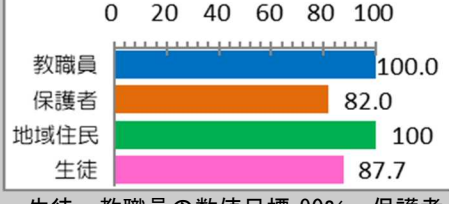
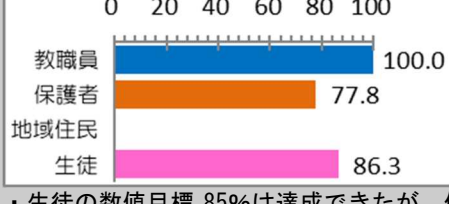
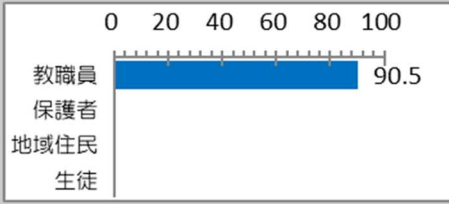
※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

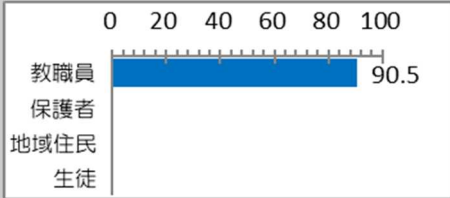
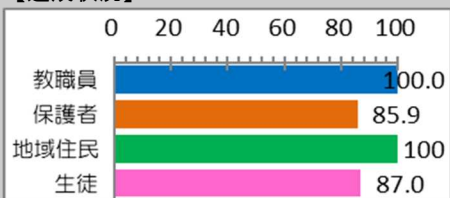
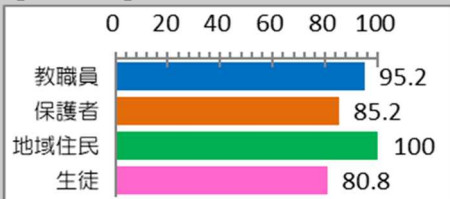
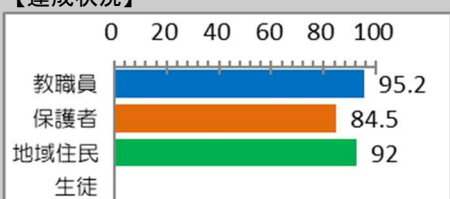
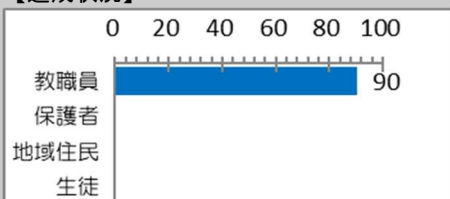
※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価										
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 85%以上	① キャリア教育と連携しながら、学習の動機付けを行っていく。 ② 振り返り、単元テスト、繰り返しの学習、パワーアップ学習等において、基礎的・基本的内容の定着を図り、自信をもたせる。 ③ 各種学力調査等の結果を活用し、より効果的な指導法の工夫に努め、学習意欲の向上を目指す。 ④ 「学び合い」「教え合い」を推進していく。	B	【達成状況】 <table><tr><th>対象</th><th>達成率</th></tr><tr><td>教職員</td><td>85.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td>78.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>84.2</td></tr><tr><td>生徒</td><td>84.2</td></tr></table> ・教職員は数値目標 85%を達成できたが、生徒は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・引き続き、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、魅力的な課題の開発に努め、主体的に学ぶ力の育成に取り組んでいく。	対象	達成率	教職員	85.7	保護者	78.1	地域住民	84.2	生徒	84.2
	対象	達成率												
教職員	85.7													
保護者	78.1													
地域住民	84.2													
生徒	84.2													
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒・保護者、教職員の肯定的回答 85%以上	① 道徳の授業で、「考え・議論する道徳」を展開し、生徒の道徳性を育てる。 ② 授業や学校行事でのより良い集団作りを目指す。 ③ 生徒の良い行いなどを認め称賛する機会を多く作る。	B	【達成状況】 <table><tr><th>対象</th><th>達成率</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.4</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td></tr><tr><td>生徒</td><td>84.2</td></tr></table> ・保護者、教職員は数値目標 85%を達成できたが、生徒は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・引き続き、道徳の授業の充実を図ると共に生徒一人一人を認め称賛していく。	対象	達成率	教職員	100.0	保護者	95.4	地域住民	100	生徒	84.2
対象	達成率													
教職員	100.0													
保護者	95.4													
地域住民	100													
生徒	84.2													

A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 80%以上	① 短期での実現可能な目標設定により、達成感・成就感を積み重ね、目標実現への自信を持たせる。 ② 学級経営や学校行事等で、目標を掲げ協力して取り組む中で、意義を見いださせる。 ③ 学習指導において、個別指導の充実を図るとともに自主学習の課題を与え、基礎基本の定着をとおして、目標に向かう姿勢を身に付けさせる。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>90</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>79.5</td></tr><tr><td>生徒</td><td>79.5</td></tr></table> ・保護者、教職員は数値目標 80%を達成できたが、生徒は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・学校行事の充実をはじめ、生徒一人一人がそれぞれ自分に自信がもてるような指導を工夫していく。	対象者	達成率 (%)	教職員	90	保護者	88.1	地域住民	79.5	生徒	79.5
対象者	達成率 (%)											
教職員	90											
保護者	88.1											
地域住民	79.5											
生徒	79.5											
A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 85%以上	① 健康診断や新体力テストの結果を生かし、自分の健康についての意識を高めさせる。 ② 自転車の安全な乗り方・交通マナーを常時指導で身に付けさせ、自転車事故ゼロを目指す。 ③ 「保健だより」「食育だより」等を活用し、保護者への啓発も図る。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.2</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>生徒</td><td>89.7</td></tr></table> ・生徒、保護者、教職員ともに数値目標 85%を達成できた。 【次年度の方針】 ・感染症対策を引き続き行いながら、衛生指導や健康安全に関する指導を充実させていく。	対象者	達成率 (%)	教職員	95	保護者	88.2	地域住民	100.0	生徒	89.7
対象者	達成率 (%)											
教職員	95											
保護者	88.2											
地域住民	100.0											
生徒	89.7											
A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒、教職員の肯定的回答 85%以上	① 将来の目標を段階的に計画し、その目標を達成するための手段を考えながら粘り強く努力するよう、きめ細やかな指導を行っていく。 ② 授業や学校行事、生徒会活動などを通じて、協働しながら課題解決できる場の設定を行う。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>87.7</td></tr><tr><td>生徒</td><td>87.7</td></tr></table> ・生徒、教職員ともに数値目標 85%を達成できた。 【次年度の方針】 ・多くの人の生き方に興味をもち、自分の将来の目標設定に向かって努力できるよう支援していく。	対象者	達成率 (%)	教職員	95.2	保護者	87.7	地域住民	87.7	生徒	87.7
対象者	達成率 (%)											
教職員	95.2											
保護者	87.7											
地域住民	87.7											
生徒	87.7											
A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 85%以上	① 英語の授業のウォーミングやペア学習などで、英語を使ったコミュニケーション活動を取り入れる。 ② A L T とのコミュニケーションの場面を多く取り入れ、生きた英語に触れる機会を充実する。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>95.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>76.7</td></tr><tr><td>生徒</td><td>76.7</td></tr></table> ・教職員は数値目標 85%を達成できたが生徒は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・英語を使ったコミュニケーション活動ができる機会を充実させる。	対象者	達成率 (%)	教職員	95.2	保護者	76.7	地域住民	76.7	生徒	76.7
対象者	達成率 (%)											
教職員	95.2											
保護者	76.7											
地域住民	76.7											
生徒	76.7											

A 7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒・保護者の肯定的回答 80%以上	① 社会科・総合的な学習の時間を中心とした授業の中で、宇都宮に関連した話題を取り上げ、意識を高める。 ② 市の資料などを活用し掲示板を作成し、宇都宮の良さに触れる機会を増やす。	【達成状況】  ・生徒は数値目標 80%を上回り達成できたが、保護者は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・総合的な学習で実施した「宇都宮学」の成果と考えられるが、学習成果の発信方法を学年通信に掲載するなど工夫していく。
A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 80%以上	① クロムブックの扱い方や活用方法について生徒に正しく教える。 ② I C T機器や図書を活用する機会を計画的に取り入れ、授業での思考力を育む活動や調べ学習、まとめの学習など職員間で共有しながら実践する。 ③ 授業の中で学校図書館司書を有効的に活用していく。	【達成状況】  ・教職員は数値目標 80%を達成できたが、生徒は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・生徒が故障などで使用できなくならないよう指導・注意監視を行うとともに、図書室利用の促進と、クロムブックの有効活用について計画的に取り入れていく。
A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 80%以上	① 教科・領域の学習の中で、環境問題や防災等を取り上げ、「持続可能な社会」に対する問題意識を持たせる。 ② ゴミの分別など、身近な実践を通して意義を理解させ、環境問題等への関心を高める。 ③ 具体的な活動例を示し、「持続可能な社会」「SDGs」という言葉を生徒職員に浸透させていく。	【達成状況】  ・生徒は数値目標 80%を達成できたが、教職員は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・学校としての取組を増やすと共に、教職員が率先して発信していく。さらに生徒会の「エコスクール」活動を更に推進していく。
A 10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上	① 隔週で行われる生徒指導部会及び教育相談部会で情報交換を行い、支援を要する生徒に対して、教職員で共通理解を図り、迅速に対応する。 ② S C Mを中心に全校体制で取り組み、S CやMS、外部機関との連携を図る。	【達成状況】  ・教職員の数値目標 85%を達成できた。 【次年度の方針】 ・個に応じた対応を適切にできるよう、引き続き外部機関と連携を図りながら組織的に対応していく。

目 指 す 学 校 の 姿	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	① いじめの早期発見・対応のため、アンケートを定期的に行う。 ② 各種たよりやホームページ等に取り組み状況を公表する。 ③ 定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、具体策を検討し学校全体で取り組む。	B 【達成状況】  ・生徒の数値目標 90%を達成できたが、保護者は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・引き続き、生徒の言動に注意を払いアンテナを高く持ち、全職員体制で指導を充実させていく。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 85%以上	① 生活ノートや教育相談、生徒アンケートなどからのさまざまな情報を大切にし、生徒理解に努める。 ② ステップアップ教室や心の教室なども活用しながら、教室復帰を目指していく。	B 【達成状況】  ・生徒、保護者、教職員ともに数値目標 85%を達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、生徒一人一人の自己有用感を高められるよう取組を充実させていく。
	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 90%以上 保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 主体性や連帯感を育てるため、生徒が活動し活躍できる機会を意図的に作り、自己有用感を持たせる。 ② 道徳の授業の充実を図り、心豊かな生徒の育成に努める。 ③ 来校者への挨拶を充実させ、活気がある学校づくりを推進する。	B 【達成状況】  ・生徒、教職員の数値目標 90%、保護者、地域住民の数値目標 80%、を達成できた。 【次年度の方針】 ・行事や活動を充実させ、生徒一人一人の自己有用感を高めていく。
	A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	① 分かる楽しい授業を実践して生徒の意欲を高めていく。 ② TT・習熟度学習やかがやきルームの効果的な活用などで、個に応じた指導を工夫し基礎基本の定着を図る。 ③ 生徒個々の意欲を引き出すために、努力した点、成果が見られた点を意図的に賞賛する。	B 【達成状況】  ・生徒の数値目標 85%は達成できたが、保護者の数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・引き続き、生徒一人一人の学習状況に着目して、指導の工夫を継続していく。
	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上	① 学校目標や学校経営の方針を全職員が意識し、共通理解のもと教育活動に取り組む。 ② 専門性を有する学校スタッフの職務内容や活用方法を検討し周知しながら連携を深める。 ③ 管理職を中心に、風通しの良い職員関係を構築する。	B 【達成状況】  ・教職員の数値目標 85%を達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、組織を活かし連携して業務に取り組んでいく。

A 16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	① 出退勤時間管理を通して、職員への声かけを行い、意識付けを図る。 ② 校務分掌や業務の見直しや削減を検討し、校務の効率化を図る。 ③ 部活動方針に基づき、部活動の適正な運営に努める。	【達成状況】  ・教職員の数値目標 80%を達成できた。 【次年度の方針】 ・取組を見直し、より一層、業務の削減や分担の見直し等を進めていく。
A 17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒・保護者・地域住民 教職員の肯定的回答 80%以上	① 計画的に運営会議・全体会・各部会を開催し、9年間を見通した指導ができるように連携を図る。 ② あいさつ運動・冒険活動教室・中学校訪問など、小中生が協働したり交流する合同行事の充実を図る。 ③ 活動状況を周知する方法を工夫し、意識の向上を図る。	【達成状況】  ・生徒、保護者、地域住民ともに数値目標 80%を達成できた。 【次年度の方針】 ・小学校との連携を図りながら、取組を充実させていく。
A 18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 生徒・保護者・地域住民 教職員の肯定的回答 85%以上	① 保護者会や学校公開の活用、学校だよりなどの各種通知や学校ホームページでの情報発信の充実などを通して、開かれた学校づくりを推進する。 ② 地域協議会と連携し、情報の共有や学校運営参画機能の充実を図り、地域全体で学校をつくっていく体制を構築する。	【達成状況】  ・保護者、地域住民、教職員の数値目標 85%は達成できたが、生徒は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・取組を継続すると共に、取組内容を模索し、充実させていく。
A 19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 保護者・地域住民・教職員の肯定的回答 85%以上	① 月1回の安全点検や日常の確認を通して、異常箇所の早期発見・修繕を行い、安全管理の徹底を図る。 ② 避難訓練や安全教育を通して、常に振り返りをしながら、危機管理マニュアルの見直しを検討する。	【達成状況】  ・地域住民、教職員の数値目標 85%を達成できたが保護者は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・引き続き、取組を継続し、事故等の未然防止に努める。
A 20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	① ICT 機器を利用して個別最適化された授業を展開する。 ② 協働的な学びを支援する。 ③ 職員研修を行うことで、機器の取り扱いや生徒への指導ができるよう教職員の資質向上を図る。	【達成状況】  ・教職員の数値目標 90%を達成できた。 【次年度の方針】 ・ICT 器機を利活用させるため、教職員に対する研修会を充実させるとともに、個別最適な学びの実現を図る。

本校の特色・課題等	B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒・地域住民・教職員の肯定的回答 90%以上	① 教職員・来客者・地域の人に対して、心をこめたあいさつができるように努めさせる。 ② 生徒会の取組を活性化し、晃陽地域学校園あいさつ運動を定期的実践する。 ③ あいさつを相手の顔を見てできるように共通指導していく。	【達成状況】 ・生徒、地域住民、教職員の数値目標 90%を上回り達成できた。 【次年度の方針】 ・引き続き、TPOをわきまえたあいさつ指導を充実させていく。
	B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 90%以上	① 生活の一日の決まりやチャイム着席など授業時の約束事(準備・姿勢・返事)を実践させ、規律ある生活のリズムを身に付けさせる。 ② 道徳の授業などで、きまりやマナーを守ることの意義を理解させる。	【達成状況】 ・教職員の数値目標 90%を達成できたが、生徒が達成できなかった。 【次年度の方針】 ・継続的に指導に当たっていく。
	B3 地域の様々な人々とのふれあいを大切にしている活動をしている。 【数値指標】 生徒・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 総合的な学習の時間に、富屋特別支援学校や高齢者福祉施設等での交流・体験活動を系統的に位置づけ、福祉教育の推進を図る。 ② 地域の事業所での職場体験や地域の講師によるお囃子の演奏など、地域の方との交流を通して、地域理解を深める。	【達成状況】 ・地域住民の数値目標 880%は達成できたが生徒、保護者は達成できなかった。 【次年度の方針】 ・様々な取組内容を模索し、充実させていく。
	B4 何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしている。 【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 80%以上	① 将来への見通しがもてるように、学校教育全般にわたってキャリア教育を推進する。 ② 地域の行事やボランティアへの積極的な参加を奨励し、地域に貢献している意識を体感させる。 ③ 小学校と連携し、キャリアパスポートの有効的な活用を図る。	【達成状況】 ・生徒、保護者、教職員ともに数値目標 80%を達成できなかった。 【次年度の方針】 ・「キャリアパスポートファイル」の更なる充実及び活用をめざすとともに、学校教育全般にわたってキャリア教育を推進する。

〔総合的な評価〕

全体的な結果をみると、目標とする数値指標と比較して、教職員は20指標項目中18項目（内：16項目は5%以上）、地域住民は6指標項目中6項目全て（内：5項目は5%以上）が上回っており、高評価であった。それに対し保護者は、13指標項目中7項目、生徒は19指標項目中9項目が上回っている結果となり課題が残った。

高評価を得た項目のうち、「キャリア教育」、「小中一貫教育の推進」、「教職員の働き方改革」では、昨年度の課題を分析し、解決策に取り組めたことで、成果を発揮できたと推察できる。

まず「キャリア教育」では、A3「生徒は、目標に向かってあきらめずに粘り強く取り組んでいる」の質問項目で、昨年度と比較してみると、肯定的回答率が教職員は31.4%、保護者は1.4%、生徒は0.4%増加した。

これは、コロナが5類となり行事やボランティア、あいさつ運動など多くの活動を制限なく実施することができ、教師は意図的に生徒があきらめずに粘り強く取り組める場面設定を行い実行できたことで成果を実感し、大幅に肯定的回答率が増加したものと考えられる。一方、保護者や生徒はすでに肯定的回答率が高かったため大きな増加はなかったが向上が見られた。

次に、「小中一貫教育の推進」では、A17「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」の質問項目で、昨年度比から教職員は4.5%、保護者は2.6%、生徒は30.9%増加した。今年度は、小学校や地域が発行した「便り」を全教室に掲示することで興味関心をもち、地域や小学校の行事へ積極的に参加する機会が増えた成果と推察する。

さらに、「教職員の働き方改革」では、A16の「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」の質問項目で、教職員の肯定的回答率が昨年度比で22.3%増加した。これは、教職員の業務は増加しているものの、長期休業中の業務休止期間を長く設け、計画的に業務に取り組み、メリハリをつけた勤務体系に心掛け改善を図った成果と考える。

しかし、教職員と生徒・保護者の結果を比較して10pt以上差があった項目が24項目中6項目あり、教職員と、生徒や保護者の意識にずれが生じていることが見受けられる。教職員が成果として捉えている内容を生徒や保護者も実感できるよう次年度は発信していく必要がある。詳しい結果は以下のとおりである。

【昨年度比の結果】

<昨年度比で5%以上上回った項目>

- ◇教職員 A3「生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」59.1⇒90.5%
(31.4%↑)
- A6「生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。」81.8⇒95.2% (13.4%↑)
- A7「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」81.8⇒95.2% (13.4%↑)
- A16「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」68.2⇒90.5% (22.3%↑)
- ◇生徒 A7「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」81.3⇒86.3% (5.0%↑)
- A9「生徒は、『持続可能な社会』について、関心をもっている。」74.8⇒81.5% (6.7%↑)
- A17「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」56.1⇒87.0%
(30.9%↑)
- B1「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」86.3⇒92.5% (6.2%↑)

<昨年度比で5%以上下回った項目>

- ◇教職員 A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」
100⇒90.5% (9.5%↓)
- ◇保護者 A4「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」94.2⇒88.2% (6.0%↓)
- A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」84.7⇒76.4%
(8.3%↓)
- A12「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。」92.2⇒85.2% (7.0%↓)
- A13「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり明るくいいきとした雰囲気である。」
91.5⇒82.0% (9.5%↓)
- A19「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」92.2⇒84.5%
(7.7%↓)
- ◇地域住民 A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」100⇒91.7
(8.3%↓)
- ◇生徒 A2「生徒は、思いやりの心をもっている。」90.6⇒84.2% (6.4%↓)

【教職員と生徒・保護者の結果で10%以上差があった項目】

- A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」教100、生91.8、保76.4%
- A12「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。」教100、生89.0、保85.2%
- A13「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり明るくいいきとした雰囲気である。」
教100、生87.7、保82.0%
- A14「教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。」
教100、生86.3、保77.8%
- A17「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」教100、生87.0、保85.9%
- B3「地域の様々な人々とのふれあいを大切にした活動をしている。」教90.5、生74.7、保78.3%

7 学校関係者評価

- ・通学路で生徒とすれ違うときはほとんどの生徒が挨拶をする。1人よりも複数の方が挨拶頻度は高い。
- ・挨拶を励行し、いじめや不登校を生まない明るい学校づくりを目指して取り組んでいることがデータからもよく分かるので、今後も保護者・地域・学校が一体となった学校づくりを進めて欲しい。
- ・A5「生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。」の結果を受けて、次年度の方針が「多くの人の生き方に興味をもち、自分の将来の目標設定に向かって努力できるよう支援していく。」とあるが大変良いと思う。将来へのはっきりした目標があれば、そこに向かって自然と必要な勉強をしていくようになる。世の中には色々な生き方、仕事があることを生徒に教えて欲しい。
- ・総合的な評価が良く分析されていてわかりやすかった。
- ・地域住民は学校内部の様子が詳しく分からないので、希望的数値とも考えられる。
- ・数値が下がっているもの、差があるものは対策を考えて欲しい。
- ・教職員・生徒・地域が一体となってもっと素晴らしい晃陽中になるように一步一步進んでいければよいと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

高評価を得た項目のうち、「キャリア教育」、「小中一貫教育の推進」、「教職員の働き方改革」では、昨年度の課題を分析し、解決策に取り組んだことで成果につながった。次年度も、今年度の結果を各学年や部会で検討した内容を共有し、具体的に取り組むことで改善を図りたい。

・学習面では、A14「教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。」の質問項目で、教職員は100%、保護者は77.8%で市の平均とほぼ変わらない結果であったのに対し、生徒は86.3%で市の平均を6.4%下回った。また、A1「生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。」では、教員、保護者、生徒のいずれも市の平均を下回る結果となった。この結果から、次年度は、生徒が基礎学力を身に付け、活用力を伸ばし、学習に対する自主性と継続性を育めるよう、工夫・改善することを目指し、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と生徒の学習習慣の育成」を重点課題として取り組んで行く。

・さらに、A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」、A12「教職員は不登校を生まない学級経営を行っている。」、A13「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり明るくいきいきとした雰囲気である。」の3項目では、全ての種別で目標指数を上回っていたが、市の平均と比較してみると教職員の回答は全て上回っているのに対し、生徒・保護者は下回る結果となった。日頃からの生徒との会話や日々の記録、定期的なアンケートにより生徒の様子を継続して観察していくとともに、さらに自己肯定感や自己有用感が育めるような授業、行事の工夫など行っていきたい。次年度は、さらに生徒が安心して力を発揮できる学校づくりを目指し、学校で取り組んでいる内容の情報発信を強化していきたい。